

大野市下打波におけるヤマネの保護記録

水谷瑞希 *¹

Mizuki MIZUTANI*¹. 2011. Notes on the Japanese dormouse *Glirulus japonicus* found at Shimouchinami, Ono city, Fukui prefecture. *Ciconia (Bulletin of Fukui Nature Conservation Center)* 16:31-32. Twelve Japanese dormice *Glirulus japonicus* were found in 2 nests at Shimouchinami (WGS84 datum; 35°58' N, 136°40' E), Ono city, Fukui prefecture, in September 2011. This was a new record of Japanese dormouse breeding in this area.

Key words: Japanese dormouse, *Glirulus japonicus*, Ono city, Fukui prefecture.

キーワード：ヤマネ，大野市，福井県．

はじめに

ヤマネ *Glirulus japonicus* は本州，四国，九州，隠岐島後に分布する日本固有種である（阿部ら 1994）．国の天然記念物に指定されており，また国のレッドリストでは準絶滅危惧（NT）に（環境省自然環境局野生生物課 2007），福井県のレッドデータブックでは県域準絶滅危惧種に（福井県福祉環境部自然保護課 2002），それぞれ指定されている．

ヤマネは山地帯から亜高山帯の成熟した森林に生息するが（阿部ら 1994），家屋や山小屋の中で，冬眠個体が発見されることもある（湊 1996）．

福井県ではこれまで，嶺北では大野市，勝山市，池田町と南越前町（旧今庄町），嶺南では若狭町（旧上中町）とおおい町（旧名田庄村）において，ヤマネの生息が確認されているが（図 1；福井県福祉環境部自然保護課 2002；水谷 2009），その記録は少ない．

今回傷病鳥獣救護によって，大野市下打波におけるヤマネの繁殖記録が得られたので報告する．

保護状況

ヤマネは，2011 年 9 月 2 日と 6 日の 2 回，福井県大野市下打波の山林で保護された（図 1；WGS84 datum, 35°58' N, 136°40' E；標準地域メッシュコード 53367574；標高 970m）．保護現場の山林は，スギ人工林と広葉樹林がパッチ状に混在する植生であった（図

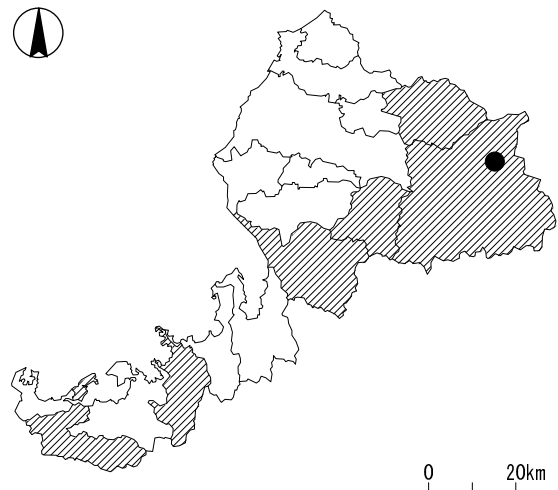


図 1 福井県におけるヤマネの生息記録．●は本報告の確認地点を，斜線部はこれまでにヤマネの生息が確認されている市町村を，それぞれ示す．

2)．

森林組合職員がスギ伐採作業の際に，伐倒した樹上でヤマネの巣を発見した．巣はスギの樹皮を細かく割いたものを丸めたもので，直径は約 20cm であった（図 3）

巣内から，各 6 頭（計 12 頭）の幼獣が見つかった（図 4）．発見場所で半日程度静置しても親が戻る様子がなかったため，森林組合職員は幼獣を福井県自然保護センターに搬送した．自然保護センターでは幼獣に



図2 保護現場周辺の状況。



図4 巢内から見つかった幼獣（2011年9月2日保護分）。



図3 発見されたヤマネの巣（2011年9月2日保護分）。



図5 放獣直前の個体（2011年10月27日撮影）。

ネコ用ミルク、果実、昆虫などを与え飼養した。その結果、9月6日に保護された6頭のうち5頭が健全に成長した。無事に成長した5頭（図5）は、2011年10月27日に保護現場近くの山林で放獣した。

引用文献

- 阿部永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明．1994．日本の哺乳類．東海大学出版会，東京．
- 福井県福祉環境部自然保護課（編）．2002．福井県の絶滅のおそれのある野生動物：福井県レッドデータブック（動物編）2002．福井県，福井．
- 環境省自然環境局野生生物課．2007．哺乳類，汽水・淡水魚類，昆虫類，貝類，植物Ⅰ及び植物Ⅱのレッドリストの見直しについて（平成19年8月3日

付け報道発表資料）．環境省自然環境局野生生物課，東京．

湊秋作．1998．ニホンヤマネ．野生動物救護ハンドブック編集委員会（編）野生動物ハンドブック：日本産野生動物の取り扱い．文永堂出版，東京．pp.175-178．

水谷瑞希．2009．池田町魚見で保護されたヤマネについて．Ciconia（福井県自然保護センター研究報告）14:29-30．